

事業報告

(平成 25 年 2 月 1 日から)
(平成 26 年 1 月 31 日まで)

1. 会社の現況に関する事項

(1) 事業の経過及び成果

昨期、J2 優勝・J1 昇格を成し遂げ、3 度目の J1 挑戦となった今期、ダヴィ・フェルナンジーニョといったチームの中心選手を失う苦しい体制の中、シーズンが始まりました。2 年目を迎えた城福監督は、J1 残留という最低限の目標を掲げながらも、当然、中位・上位を目指すチームへの成長を目指しました。

シーズン序盤、決して得点力は高くないものの、安定した守備を武器に要所で勝ち点を積み上げ、5 月 3 日の 9 節終了時点で 8 位となりました。ACL 出場権獲得も夢ではないという状況に、誰もがチームの安定を確信いたしました。しかしその後、得点力の低さを補うために獲得した外国人選手、さらにはもともと所属していた外国人選手がチームに思うようにフィットせず、それに比例するようにチームは 11 節から 8 連敗、順位も 16 位の降格圏まで落ち、わずか 3 ヶ月で状況は一変しました。

この泥沼の状況の中、佐久間ゼネラルマネージャーをはじめとする強化部及びフロント首脳陣は、7 月の仙台戦への出場をめどに、新たな外国人選手の補強に動きました。限られた予算のなかではありましたが、高い技術を持つジウシーニョと高さスピードを兼ね備えたパトリックの獲得に成功し、シーズンの後半を迎えることとなりました。

後半戦に入り、18 節の仙台戦は敗戦するも、パトリックをワントップに置き、守備を固める戦術が安定したことで、負けないサッカーを体現し、順位こそ 15 位となりましたが J1 に残留し、次のシーズンへ向けての確かな自信を手にすることが出来ました。

また、ホームゲームにおいては、前回 J1 で戦った 2011 年の平均観客動員数 12,106 人を上回る平均 12,614 人の動員となり、シーズン初めに目標として掲げた、平均観客動員数 13,000 人により近づくことが出来ました。

そして、今期も継続して多くの地域貢献活動を行ってまいりました。今期特に目を向けたのが郡内への地域貢献であります。世界遺産富士山の麓、富士吉田市でミニキャンプを行い、練習の合間に子供たちとサッカーを楽しんだほか、多くの小学校や施設に訪問する機会を頂きました。子供達には、山梨にプロサッカー klub があるという素晴らしさを、より肌で感じていただけたのではないのでしょうか。

ヴァンフォーレ甲府は山梨県全県にホームタウンを置いております。そうすることで生まれる地域とのつながりを大切に、地域とともに山梨県全体の産業・観光・教育・その他様々な事に貢献するクラブとなれるよう一層努力する所存であります。

経営面においては、営業収入が約 14 億 8 千万円（前年比 125%）となりました。J2 であった前期と比べますと大幅な増収となりますが、他の J1 クラブと比較すると、まだまだ厳しい状況であります。支出面においては、外国人選手が多く入れ替わったこともあり、選手人件費を予算以上に計上することとなったため、収入の状況によっては赤字となってもやむを得ないという時期もありました。しかし、7 月に国立競技場で開催された浦和戦や、その後の試合の収入がわずかに予想を上回ったことで、経常利益が約 3 千 1 百万円（前年比 83%）、当期純利益が約 3 百万（前年比 19%）とわずかではありますが今期も黒字を達成することが出来ました。これによりチーム再建以降、13 期連続の黒字という結果を残すことが出来ました。

来期も J1 で戦うこととなりますが、ガンバ大阪やヴィッセル神戸といったビッグクラブが J1 に昇格しました。強豪クラブぞろいのリーグとなるため、会社としてさらなる企業努力が必要となることは間違いありません。そのような環境下でも健全な経営が続けられるよう、全社を挙げて業績の向上に努力してまいります所存であります。

2013 Jリーグ ディビジョン1 順位表
終了時点

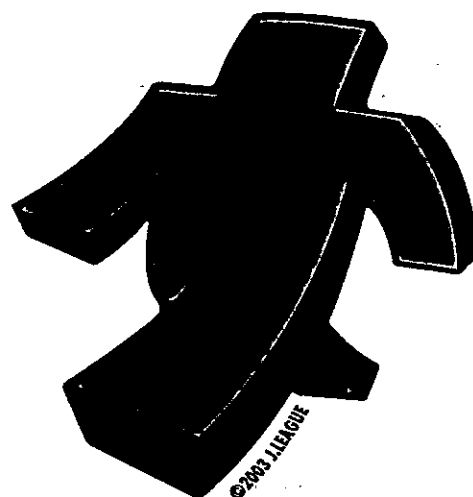
順位	チーム	勝点	試合	勝	分	敗	得点	失点	得失点差	ホーム			アウェイ		
										勝	分	敗	勝	分	敗
1	サンフレッチェ広島	63	34	19	6	9	51	29	22	11	3	3	8	3	6
2	横浜F・マリノス	62	34	18	8	8	49	31	18	9	6	2	9	2	6
3	川崎フロンターレ	60	34	18	6	10	65	51	14	11	4	2	7	2	8
4	セレッソ大阪	59	34	16	11	7	53	32	21	9	5	3	7	6	4
5	鹿島アントラーズ	59	34	18	5	11	60	52	8	12	2	3	6	3	8
6	浦和レッズ	58	34	17	7	10	66	56	10	10	3	4	7	4	6
7	アルビレックス新潟	55	34	17	4	13	48	42	6	11	1	5	6	3	8
8	FC東京	54	34	16	6	12	61	47	14	10	1	6	6	5	6
9	清水エスパルス	50	34	15	5	14	48	57	-9	9	2	6	6	3	8
10	柏レイソル	48	34	13	9	12	56	59	-3	8	5	4	5	4	8
11	名古屋グランパス	47	34	13	8	13	47	48	-1	9	4	4	4	4	9
12	サガン鳥栖	46	34	13	7	14	54	63	-9	9	2	6	4	5	8
13	ベガルタ仙台	45	34	11	12	11	41	38	3	7	7	3	4	5	8
14	大宮アルディージャ	45	34	14	3	17	45	48	-3	7	3	7	7	0	10
15	ヴァンフォーレ甲府	37	34	8	13	13	30	41	-11	4	5	8	4	8	5
16	湘南ベルマーレ	25	34	6	7	21	34	62	-28	3	6	8	3	1	13
17	ジュビロ磐田	23	34	4	11	19	40	56	-16	3	5	9	1	6	10
18	大分トリニータ	14	34	2	8	24	31	67	-36	0	4	13	2	4	11

Jリーグ ディビジョン1 観客動員順位表

順位	チーム	ホーム数	平均(人)	合計(人)
1	浦和レッズ	17	37,100	630,701
2	横浜F・マリノス	17	27,496	467,425
3	アルビレックス新潟	17	26,112	443,906
4	FC東京	17	25,073	426,246
5	セレッソ大阪	17	18,819	319,928
6	川崎フロンターレ	17	16,644	282,952
7	鹿島アントラーズ	17	16,419	279,115
8	サンフレッチェ広島	17	16,209	275,556
9	名古屋グランパス	17	16,135	274,297
10	ベガルタ仙台	17	14,866	252,725
11	清水エスパルス	17	14,137	240,324
12	ヴァンフォーレ甲府	17	12,614	214,441
13	柏レイソル	17	12,553	213,406
14	サガン鳥栖	17	12,026	204,438
15	大分トリニータ	17	11,915	202,557
16	大宮アルディージャ	17	11,138	189,342
17	ジュビロ磐田	17	10,895	185,207
18	湘南ベルマーレ	17	9,911	168,481

クラブサポーター会員数

2013クラブサポーター会員	8,160口	J1
2012クラブサポーター会員	8,133口	
2011クラブサポーター会員	9,033口	J1
2010クラブサポーター会員	8,568口	
2009クラブサポーター会員	8,522口	
2008クラブサポーター会員	8,693口	
2007クラブサポーター会員	9,561口	J1
2006クラブサポーター会員	9,950口	
2005クラブサポーター会員	5,771口	
2004クラブサポーター会員	6,028口	



スポーツで、もっと、幸せな国へ。
JLEAGUE 百年構想

選手、スタッフ、フロント業務一覧

項 目	2010年	2011年	2012年	2013年
イベント参加 (選手、スタッフ、マスコット)	142回	136回	137回	128回
サッカー教室	61回	110回	139回	128回
交流活動 (施設訪問等)	8回	8回	9回	11回
小学校巡回スポーツ教室	14回	24回	46回	35回
巡回ヴァンくん体操	-	-	32回	33回
介護予防事業	23回	29回	33回	33回
講演会/講習会/講話	36回	18回	32回	49回
関連団体行事	87回	89回	103回	140回
クラブ直轄行事	38回	41回	45回	36回
職場体験/インターンシップ (受入件数)	13回	30回	27回	36回
総合計	422回	485回	603回	629回

経営状況の推移

(株) ヴァンフォーニール製スポーツクラブ
平成26年1月

損益計算書																	
再建スタート																	
(単位: 円)																	
科目	平成9年(創立年) 1997年	平成10年 1998年	平成11年 1999年(2期加入)	平成12年 2000年	平成13年 2001年	平成14年 2002年	平成15年 2003年	平成16年 2004年	平成17年 2005年	平成18年 2006年(1月)	平成19年 2007年(1月)	平成20年 2008年	平成21年 2009年	平成22年 2010年	平成23年 2011年(1月)	平成24年 2012年	平成25年 2013年(1月)
営業収入	111,510,957	74,115,397	209,939,114	182,604,604	251,748,004	364,101,976	498,352,277	582,334,850	670,669,728	1,343,209,955	1,655,191,225	1,263,379,732	1,094,333,598	1,067,057,264	1,465,788,104	1,179,540,713	1,481,866,411
入会料	17,323,979	13,083,590	31,011,564	38,184,590	45,532,782	50,644,790	66,810,005	55,643,712	73,428,305	170,605,108	209,323,600	80,369,942	106,583,503	101,844,172	169,403,616	91,640,308	172,726,295
広告料	67,422,355	34,607,990	22,720,350	25,578,875	60,785,175	101,821,598	159,930,686	220,420,509	245,922,825	571,246,996	778,356,306	647,289,101	497,174,185	498,559,020	834,994,349	554,357,557	683,563,140
クラブパートナー	18,292,022	17,164,270	26,671,770	33,021,680	71,437,287	80,300,358	77,984,500	87,954,434	86,334,475	215,321,502	226,622,376	195,944,618	186,537,623	195,717,416	252,078,955	200,249,403	230,069,509
J配分金ほか	2,434,590	6,197,476	40,314,705	49,537,488	54,808,157	91,986,890	122,786,016	125,735,205	186,081,483	253,227,152	285,313,116	131,736,117	153,532,115	135,620,280	246,114,579	141,517,668	226,066,770
その他収益	6,038,021	3,062,081	89,220,725	36,281,971	19,184,603	39,348,350	70,841,070	92,590,990	78,902,640	132,503,797	154,616,825	208,039,954	150,506,172	135,317,376	163,194,606	191,775,777	189,140,597
営業費用	263,381,588	312,937,242	226,412,287	240,285,744	240,211,843	352,560,121	475,428,225	548,170,655	575,844,066	1,100,114,624	1,506,453,326	1,237,136,407	1,090,755,063	1,095,949,485	1,401,038,884	1,148,928,000	1,452,896,170
チーム間取費	173,901,635	185,082,768	124,145,241	140,189,439	133,726,798	195,087,159	285,791,987	337,141,001	355,595,177	670,593,885	925,445,431	752,423,874	608,594,854	604,081,232	831,460,372	663,787,198	900,264,930
試合運営費	19,769,759	20,878,335	20,773,110	21,899,218	13,492,581	19,901,452	24,108,887	38,433,374	34,726,740	68,267,822	90,734,607	77,258,234	75,825,232	57,479,077	84,796,877	66,876,990	100,570,360
クラブ運営費	69,690,194	106,976,139	81,493,936	78,197,087	92,992,474	137,601,510	165,527,351	172,596,280	185,522,149	360,852,914	490,365,288	407,454,299	396,334,977	394,389,176	484,781,136	418,263,812	452,053,860
営業利益	-151,870,631	-238,821,845	-16,473,173	-57,681,140	11,536,161	11,541,855	22,924,052	34,164,195	94,825,682	243,096,631	148,738,899	262,433,325	13,578,535	11,107,779	64,749,220	30,612,713	28,971,241
営業外利益	0	0	22,794	1,323,720	25,503	2,494,176	3,109,474	2,162,448	4,605,846	19,020,606	6,437,912	7,610,430	8,502,234	2,820,239	3,889,841	15,322,082	16,312,282
営業外費用	0	0	939,209	6,499,982	6,274,844	6,144,890	7,290,913	5,639,158	7,688,489	16,526,619	3,343,149	1,855,777	19,530,218	8,550,004	8,044,423	8,851,147	14,221,876
経常利益	-151,870,631	-238,821,845	-17,389,588	-62,857,402	5,266,820	7,891,141	18,742,613	30,687,485	91,763,019	243,589,518	151,833,662	31,997,978	2,550,551	5,378,014	60,694,638	37,083,648	31,061,647
前期損益修正益	0	0	16,450,000	4,294,213	0	0	0	0	0	59,654,100	0	-28,871	34,812	0	24,314,624	-76,384	0
特別損失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法人税及び住民税	0	0	0	580,000	2,704,600	4,479,000	10,506,100	15,099,700	42,786,000	109,677,200	97,596,900	7,203,600	1,798,000	5,177,200	41,096,747	14,917,077	80,038,831
法人税等調整額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,661,994	483,658
当期利益	-151,870,631	-238,821,845	-939,588	-58,563,189	2,582,220	3,412,141	8,236,513	15,587,785	48,977,019	134,918,377	54,296,762	24,765,507	717,739	200,814	44,122,515	15,428,193	29,631,112
過年度利益調整額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
繰越損益	-151,870,631	-390,692,476	-391,632,084	-450,195,253	-447,613,033	-444,200,892	-435,964,379	-420,376,594	-371,399,575	-239,481,159	-183,244,436	-157,478,929	-156,761,190	-156,560,376	-83,093,376	-74,661,177	-71,883,935

2014 シーズン目標

○ クラブサポーター会員

9,000口（前年度実績 8,160口）

○ 観客動員数

13,000人（前年度実績 12,614人）

○ 広告料収入

7億0,000万円（前年度実績 6億8,300万円）